

## URP「先端的都市研究拠点」 特別研究員（若手）募集要項（平成28年8月募集分）

大阪市立大学都市研究プラザ（URP）では、若手研究者の自発的かつ国際水準の研究活動を支援することを目的として、平成28年度の「URP 先端都市特別研究員（若手）」を下記の要領で募集します。

URP 先端都市特別研究員（若手）は、グローバル COE 拠点としての活動実績を継承し、平成26年度採択の共同利用・共同研究拠点事業の一環として公募するもので、研究活動のスタイルについて2類型（コース）を設けています。A グローバルコースは、受入研究者の概括的な指導の下、国際会議での研究発表やフィールドワークなどの研究活動を行うコースです。B マイスターコースは、受入研究者が主宰する研究プロジェクトと密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行するコースです。別表に示す「研究テーマ、受入研究者となることが可能な研究者」をご参照いただき、積極的なご応募をお願いします。

### 1. 募集区分・待遇・募集人数等

URP 先端都市特別研究員（若手）は、2つの【活動類型】（A グローバルコース、B マイスターコース）のそれぞれに4つの【課程・学位水準】（1, 2, 3, 4）を設けて、計8区分で募集します。研究計画等（研究経費申請を含む）に基づいた選考により採択されると、URP 先端都市特別研究員（若手）として任用され、研究計画に則った予算を利用した研究活動が実施できます。また、学位水準や他機関からのフェローシップ等の受給状況に応じて、研究員給料が支給されます。ただし、同種研究費、同種給料の重複給付は行いませんので、旅費の執行が認められない場合や、給料が支給出来ない場合もあります。

コース	区分	応募資格	待遇	募集人数※
A グローバルコース	A-1	DC (a) : DC1～3 年次	研究活動費（旅費主体；Max 50 万円／12 月）	A-1, B-1 を合わせて 5 名
	A-2	DC (b) : DC4～6 年次	研究活動費（旅費主体；Max 30 万円／12 月）	A-2, B-2 を合わせて 5 名
	A-3	PD	博士研究員給料（時間給）および 研究活動費（旅費主体；Max 50 万円／12 月）	A-3, A-4, B-3, B-4 を 合わせて
	A-4	PhD Candidate	研究員給料（時間給）および 研究活動費（旅費主体；Max 50 万円／12 月）	若干名
B マイスターコース	B-1	DC (a) : DC1～3 年次	研究活動費（Max 70 万円／12 月）	A-1, B-1 を合わせて 5 名
	B-2	DC (b) : DC4～6 年次	研究活動費（Max 42 万円／12 月）	A-2, B-2 を合わせて 5 名
	B-3	PD	博士研究員給料（時間給）および 研究活動費（Max 70 万円／12 月）	A-3, A-4, B-3, B-4 を 合わせて
	B-4	PhD Candidate	研究員給料（時間給）および 研究活動費（Max 70 万円／12 月）	若干名

※ 募集人数は最大数であり、採用人数が募集人数に満たない場合があります。

※ A-3、A-4、B-3、B-4 のいずれかの区分で採用された特別研究員（若手）であっても、必ずしも週5日の勤務とそれに対応した給料が保証されるわけではありません。勤務日数は、都市研究プラザの予算総額とこれらの区分で採用された特別研究員（若手）の人数によって異なります。

前回の募集では、これらの区分で採用された特別研究員（若手）の多くは、週2日もしくは週3日の勤務となり、この勤務日数に対応した給料の支払いを受けました。

また、給料は支払われず、研究費のみを支給された者もいます。

【参考】公立大学法人大阪市立大学給与規定に定める時間給（平成 28 年 4 月現在）

博士研究員	1,924 円／時間
研究員 C（概括指導のもとに行う相当高度な研究）	1,600 円／時間

#### 【注意事項】

- URP先端都市特別研究員(若手)A1・A2・B1・B2 は、1年あたり2回以上、研究発表会等において研究発表をしていただきます。URP先端都市特別研究員(若手)A3・A4・B3・B4 は、研究発表会等において、研究発表のみならず、企画及び実施運営に積極的に参画していただきます。
- 研究計画は複数年度に亘ることが可能ですが、研究活動費予算は会計年度毎に審査し、決定します。また、研究活動結果報告書（中間報告書）および決算報告書を、会計年度毎に提出していただきます。
- 研究活動費は、大阪市立大学の経費支出基準により設備備品費、消耗品費、旅費等として執行出来ます。申請研究活動の経費負担を保証するものではありません。
- 勤務条件は、研究活動費同様、会計年度毎に審査し、決定します。

## 2. 応募資格

下記(1)～(4)のいずれかの区分に該当し、大阪市立大学URP「先端的都市研究拠点」に所属する研究者を「受入研究者」\* とすることができる者であって、URP先端都市特別研究員(若手)として在籍する期間において研究を本務とできる者（他機関における職務専念義務の制約がない者）。

\* 応募にあたっては、別表に示す「受入研究者となることが可能な研究者」と事前に綿密な連絡を取ってください。

	平成 28 年 10 月時点の学位・身分	応募可能な募集区分と申請できる研究期間	
(1)	後期博士課程（博士課程）在籍	A-1, B-1	平成28年10月から最長3年間 (ただしDC3年次まで)
		A-2, B-2	平成28年10月から最長1年間
(2)	後期博士課程（博士課程）退学	A-4, B-4	平成28年10月から最長1年間
(3)	後期博士課程（博士課程）修了	A-3, B-3	平成28年10月から最長2年間
(4)	博士（論文）		

## 3. 選考方法

「申請書」（下記 4. (1)）の書類審査（1次審査）および口頭試問（2次審査）により、URP特別研究員選考委員会が審査します。

口頭試問は、平成 28 年 8 月 17 日（水）に、大阪市立大学・杉本キャンパス（大阪市住吉区杉本 3-3-138）において実施します（詳細は該当者に別途通知します）。

## 4. 応募手続

- (1) 出願書類：特別研究員（若手）申請書（平成 28 年 8 月募集分）× 1 部
- (2) 募集期間：平成 28 年 7 月 1 日（金）～平成 28 年 7 月 22 日（金）17:00 必着
- (3) 送付先（郵送または持参のみ受付）：下記【問い合わせ・出願書類送付先】参照

## 5. 選考結果の通知

1次審査（書類審査）：平成 28 年 8 月 5 日（金）に、合否を郵便にて通知（発送）します。

2次審査（口頭試問）：平成 28 年 8 月 26 日（金）に、採否を郵便にて通知（発送）します。

（※採用者は、至急手続きを行っていただく必要があります。）

## 6. 今後の募集予定

平成 29 年 4 月採用は、平成 29 年 2 月に募集の予定です（平成 29 年 1 月に募集要項公表予定）。

**【問い合わせ・出願書類送付先】**

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学都市研究プラザ URP 特別研究員担当

TEL : 06-6605-2071 FAX : 06-6605-2069 E-mail : office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

## 【別表】URP「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」研究テーマ、受入研究者の候補者

ユニット	研究テーマ	受入研究者となることが可能な研究者（○：ユニット長）
都市論	<p>◆ <b>ユニットテーマ:</b> 創造都市論をベースに都市固有の文化的背景とガバナンスのあり方を歴史的に俯瞰し、創造的都市空間の形成を考察する。</p> <p>◆ <b>研究分野:</b> 都市経済学、都市政策学、都市行政、都市社会史、空間形成史、比較都市史、地域史、アジア都市論、建築史学</p> <p>◆ <b>キーワード:</b> 創造都市、文化産業、創造産業クラスター、縮小都市、中心市街地活性化、郊外ニュータウン、都心居住、環境容量、ガバナンス、伝統都市、都城、中世都市、近代都市、都市法、社会的結合、中心と周縁、歴史系博物館、保存と活用、歴史まちづくり</p> <p>◆ <b>研究プロジェクト:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 創造都市と創造的文化産業に関する国際比較研究</li> <li>(2) 創造的縮小都市政策に関する比較研究</li> <li>(3) 巨大都市大阪の形成と変容に関する研究</li> <li>(4) 大阪を軸とした比較都市史研究</li> <li>(5) 歴史資産を活かしたまちづくりに関する研究</li> </ol> <p>◆ <b>メッセージ:</b> グローカルで、しかも歴史的な視野から比較研究を積み重ね、先端的都市論の構築に挑戦する意欲溢れる人材を募集します。</p>	<p>○ <a href="#">阿部 昌樹</a> (法学研究科)</p> <p><a href="#">佐々木 雅幸</a> (同志社大学)</p> <p><a href="#">塚田 孝</a> (文学研究科)</p> <p><a href="#">仁木 宏</a> (文学研究科)</p> <p><a href="#">藤田 忍</a> (生活科学研究科)</p> <p><a href="#">福田 美穂</a> (生活科学研究科)</p> <p><a href="#">立見 淳哉</a> (創造都市研究科)</p>
文化創造	<p>◆ <b>ユニットテーマ:</b> アート・デザインを媒介とした都市空間の再構築とコミュニティの多様性の保証、活性化</p> <p>◆ <b>研究分野:</b> 文化政策、都市計画、アートマネジメント、都市文化、文化経済</p> <p>◆ <b>キーワード:</b> アート、歴史的空間、タウン・マネジメント、インクルーシブ社会、コミュニティ、多様性、マイノリティ、共生、文化資源、演劇、サウンドスケープ、コミュニティツーリズム</p> <p>◆ <b>研究プロジェクト:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 現代社会におけるアートのアクセシビリティ・マイノリティに向き合う社会の構築に向けて</li> <li>(2) アジアの歴史的都市空間の再生とコミュニティの多様性の保証</li> <li>(3) 文化創造型タウン・マネジメント組織と空間形成に関する研究</li> <li>(4) 大学によるアート拠点運営、演劇教育を通じての、コミュニティ再生</li> </ol> <p>◆ <b>メッセージ:</b> 都市空間のなかに飛び込み、アート・デザインによる都市の再創造を熱く語り、果敢に行動する人材を求めています。</p>	<p>○ <a href="#">嘉名 光市</a> (工学研究科)</p> <p><a href="#">中川 眞</a> (文学研究科)</p> <p><a href="#">宮本 佳明</a> (都市研究プラザ・工学研究科)</p> <p><a href="#">平田 オリザ</a> (東京藝術大学)</p> <p><a href="#">橋爪 紳也</a> (大阪府立大学)</p>

社会包摂	<p>◆ <b>ユニットテーマ:</b>ホームレス、マイノリティ、住宅困窮層、あるいは社会的条件不利地域の居住支援を通じた社会的包摂実現に向けての実践</p> <p>◆ <b>研究分野:</b>地理学、社会学、住居学、都市計画</p> <p>◆ <b>キーワード:</b>ホームレス、マイノリティ、エスニシティ、ジェンダー、社会的排除と包摂、高齢者・障害者、社会保障、格差、貧困、剥奪、居住支援、NPO、都市住宅問題、居住政策、地域住居計画、居住地計画、まちづくり、社会的な不利地域の再生、居住福祉、認知症、空間デザイン</p> <p>◆ <b>研究プロジェクト：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 排除から包摂をめざしたホームレス・ハウジングプアの就労、福祉、居住支援システムの構築</li> <li>(2) 東アジア大都市の資本制文化と人間—民族関係と外国人労働者—</li> <li>(3) 地域住宅ストックを活用した住宅困窮者支援方策に関する研究</li> <li>(4) 高齢者の空間特性とまちづくりに関する研究</li> </ol> <p>◆ <b>メッセージ:</b>分断・格差社会の根源をえぐり排除から包摂の仕組みづくりの実践と学知の再創造に真摯に取り組む人材を募集します。</p>	<p>○ <a href="#">水内 俊雄</a>(都市研究プラザ)</p> <p><a href="#">谷 富夫</a>(甲南大学)</p> <p><a href="#">全 泓奎</a>(都市研究プラザ)</p> <p><a href="#">三浦 研</a>(京都大学)</p>
国際社会デザイン	<p><b>※本ユニットは、グローバルコースのみを受け入れます。</b></p> <p>◆ <b>ユニットテーマ:</b>都市と地域の文化を発展させ、生態系、社会、人々との調和を目指す都市・地域のデザイン(立案・実施・評価)を担う人材を育成することに主眼がある。とりわけ、ガバナンスの仕組みに焦点を当てるとともに、政策立案者や都市計画家、技術者、住民など様々なアクター(主体)との間の「インターフェース」・「文化的差異」などをマネジメントするための技術やツール、仕組みなどを設計・運用・管理できる人材の育成を目指す。</p> <p>◆ <b>研究分野:</b>戦略都市経営、経済地理学、政治地理学、社会デザイン学、情報デザイン学、文化生態学</p> <p>◆ <b>キーワード:</b>都市創造性、都市間連携、地域活性化、社会デザイン、産業立地、政治地理学、地理情報システム、交通工学、文理融合</p> <p>◆ <b>研究プロジェクト:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会文化コレジウムによる学術空間の創造</li> <li>(2) グローバル化と都市・地域経済の活性化</li> <li>(3) 保健医療における地理情報システム</li> <li>(4) 政治地理学と科学社会学の関係性</li> <li>(5) 交通行動分析と社会デザイン</li> <li>(6) 文化遺産と都市創造性の相互浸透</li> <li>(7) サービス・製品のインターフェースとシェアードサービス</li> </ol> <p>◆ <b>メッセージ:</b>都市(間)の創造性、都市と都市、都市と地域との文化的関係性について強い関心を持ち、従来の学問の壁を乗り越えようとする、意欲のある人材を求めます。</p>	<p>○ <a href="#">岡野 浩</a>(都市研究プラザ)</p> <p><a href="#">長尾 謙吉</a>(経済学研究科)</p> <p><a href="#">木村 義成</a>(文学研究科)</p> <p><a href="#">山崎 孝史</a>(文学研究科)</p> <p><a href="#">内田 敬</a>(工学研究科)</p>

プロジェクトや受入研究員についての詳細情報は、<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/> をご覧ください。